

日本農業気象学会 2006 年度第 3 回理事会議事録

日 時：2007 年 4 月 4 日 13 時～18 時

場 所：東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階生物・環境工学セミナー室

出席者：清野，早川，青木，井上，荊木，大原，大政，岡田，奥島，蔵田，後藤，小林，
高見，田中，真木，宮田

欠席者：浦野，大場，菅野，菅谷，武政，長野，山田，横山，王

[配布資料]

- 1) 2006 年度日本農業気象学会第 3 回理事会資料
- 2) 会計関係資料
- 3) 庶務関係資料
- 4) 編集委員会資料
- 5) センサエキスポジャパン資料（普及・教育活動委員会）
- 6) 日本地球惑星科学連合ニュースレター Vol. 3, No. 1

I. 前回議事録の確認

2006 年度第 2 回理事会（2006 年 12 月 7 日）の議事録（案）を承認。

II. 報告・連絡事項

2.1 総務関係（大原総務理事）

- 1) アンケート調査「学協会の機能強化方策検討のための学術団体調査票」を提出した。
- 2) 大学評価・学位授与機構への機関別認証評価に関わる平成 19・20 年度専門委員を推薦した。
- 3) 平成 18 年度第 3 回日本農学会運営委員会（2006 年 12 月 12 日）及び平成 19 年度第 1 回日本農学会運営委員会（2007 年 3 月 3 日）の議事内容について報告。平成 20 年度シンポジウム（2007 年 10 月 11 日，東京大学弥生講堂）のテーマは「農学領域における地球温暖化対策への取り組み」となり，日本農業気象学会も関連する学協会としてあげられているので，同シンポジウムの企画委員を 1 名，選出する必要がある。
- 4) 会誌発行形式の変更・会費値上げについて，顧問に報告した。
- 5) 日本農業工学会フェローに，上村賢治会員（元東京大学教授・元日本大学教授）が選出された（真木理事）。
- 6) 若手会員の理事登用について，18 名の推薦があった。大学関係者だけでなく，独立行政法人関係者についても推薦してほしいとの意見が出された。次回理事会まで受け付ける。

2.2 庶務関係（宮田庶務理事）

- 1) 科学技術情報発信・流通総合システム（J-STAGE）の利用規約改定。2007 年 3 月 16 日付
けで，J-STAGE に無償提供されている電子ジャーナルについて，図書館での利用者に閲覧
と 1 部の複写を認めることが明文化された。
- 2) セミナー講師派遣依頼。野菜ビジネス協議会からの依頼に対しては大原理事が講演し，
日本農業法人協会からの依頼については詳細を問い合わせ中。
- 3) 2006 年度札幌大会担当の山田理事の任期満了にともなう退任を承認。
- 4) 日本農業工学会代議員として，佐瀬勘紀，長野敏英の両会員，国際代議員として羽生広

道会員を推薦する。任期は2007年1月からの3年間。

- 5)2007-2008年度役員選出状況。選挙は終了し、規約上の併任禁止条項該当者や人事異動にともなう補充を行っている。
- 6)日本地球惑星科学連合2007年大会(2007年5月21日~24日)について報告。
- 7)地理関連学会連合第9回総会(2007年3月19日,東洋大学)に山川委員が出席。

2.3 会計関係(奥島会計理事)

- 1)外国人特別会員。前回理事会で、2008年度から外国特別会員には会誌を送付せず、J-STAGEで代替することを決定したが、現在の外国人特別会員名簿について報告があった。外国特別会員をさらに増やすこと、アドバイザリボードのメンバーについても、本人の了承を得たうえで特別会員に加えることを確認した。
- 2)会員数の動向について報告があった。
- 3)2006年度一般会計の決算(概算)について報告があった。日本技術者教育認定協会(JABEE)には、脱会届けを提出することを決定した。

2.4 編集関係(後藤編集理事)

2006年第4回編集委員会(2007年3月2日)の報告があった。新ホームページでの「生物と気象」電子版の公開に向けた準備は順調に進捗しており、原稿作成にはテンプレートを使用する。

2.5 日本農業気象学会賞の審査状況(蔵田委員長)

学会賞については学術賞、普及賞、各1名の候補者推薦があり、小委員会で審査中である。論文賞、奨励賞については推薦がなく、編集委員会(次回は6月1日開催)に推薦を依頼する。なお、2007年度合同大会の講演要旨の印刷に間に合えば、学会賞受賞者の記念講演要旨の掲載を依頼する。

2.6 永年功労会員表彰審査委員会の審査状況(岡田委員長)

2名の候補者推薦があり、これから審査に入る。5月中には審査を終了する予定。

2.7 2008年度春季大会・総会の準備状況(荊木理事)

2008年3月20日~22日に、海峡メッセ下関(下関市)で開催する。可能口頭発表課題数は、ナイトセッション(主にオーガナイズドセッションを割り当てる)を含めて96(国際シンポジウムを除く)。シンポジウムは「施設園芸における環境調節の新たな展開」を予定している。

2.8 2008年度日本農業気象学会国際シンポジウムの準備状況(早川副会長)

春季大会と並行開催する。招待講演者として、Richard G. Allen氏を予定。

2.9 2007年合同大会の準備状況(青木理事)

発表申し込み締め切りを、オーガナイズドセッションは4月11日まで、一般講演は4月25日まで、それぞれ延長した。懇親会は農工大キャンパス内で行う予定。災害等で大会を開催できない場合に備えて保険をかけた。運営は専門の業者に全面委託。なお、参加各学会は、6月29日までに大会期間中の会議等の会場利用申請をすること。

2.10 普及・教育活動委員会（青木委員長）

- 1) 気象・生物・環境計測器ガイドブック編集委員会の審議結果について、報告があった。運営費の見積もりを参考にしつつ、賛助会員がメリットを感じられるように、登録料とリンク料を設定した。5月に賛助会員と意見調整を行い、次回の理事会で審議、決定し、2007年8月に運用を開始する予定。
- 2) センサエキスポジャパンで、農業気象セミナー（4月6日、東京ビッグサイト）を開催する。

2.11 学術会議の動向について、真木理事より報告があった。

2.12 2009年合同大会の準備状況

清野会長と大政理事から報告があった。東大あるいはつくば開催する方向で、幹事学会と調整を進めている。

2.13 賛助会員1社加入（青木理事）。

Ⅲ. 審議事項

3.1 賛助会員へのサービス提供

営業担当者がメリットを感じるような賛助会員の特典の設定と周知、情報収集を目的とする賛助会員に対する各種のセミナーの企画、開催などを担当する担当理事を置くことを決定。

3.2 講演企画委員会の運営

同委員会委員長の井上理事より、今後の運営のあり方について説明があった。講演企画委員会に2名の理事を置き、うち1名は委員長として当面2年間の既決定の開催事項について対応し、もう1名は副委員長として3~4年先の開催を企画する。副委員長は、最初の2年間で企画立案した開催事項を、残りの2年間に委員長として開催する。2006~2007年は井上現委員長が担当し、2008~2009年は沖委員が担当する。以上の方針を了承し、沖委員を会長指名理事（講演企画委員会副委員長）とすることを決定した。

3.3 2008年春季大会は全国大会となるので、評議員会、総会、理事会を開催。

3.4 風に関するシンポジウム

宮田庶務理事より、第53回風に関するシンポジウム（2007年6月21日、東京大学）を協賛する旨、報告があった。また、同シンポジウムの今年の幹事学会である水文・水資源学会より、今後の同シンポジウムの運営の在り方に関して意見を求められていることについて審議を行った。当学会としては、これまでの同シンポジウムの開催趣旨を尊重した継続開催を希望しつつ、共催学会間の理解を得るために、6月の同シンポジウム開催時に共催学会の連絡会の開催を求める回答書を送ることを決定した。庶務理事が回答書原案を作成。連絡会は真木理事が対応する。

3.5 日本地球惑星科学連合への対応

当面、現在の体制で情報収集にあたる。

3.6 新ホームページ

情報電子化委員会委員長の菅谷理事から提案された新ホームページ案について審議を行い、問題点は適宜修正するとして、早急に新ホームページに移行すること、ホームページ担当理事を選任することを決定した。

3.7 2008年の国際シンポジウムで発表される論文の「農業気象」掲載方法について

荊木理事からの提案内容を審議し、シンポジウム時にフルペーパーを提出してもらい掲載論文を選定すること、採用された論文については通常投稿と同一の投稿料（30,000円）を別途徴収すること、会員外の投稿に関わる投稿規程の改正についてはできるだけ小幅な改定ですませることを決定した。

3.8 2009年春季大会開催地公募

3.9 シルバー会員制度、終身会員制度

大原総務理事からの提案内容を審議し、シルバー会員制度（60歳以上、各種役員等の被選挙権を放棄できる。会費は正会員の半額）を2008年度から導入することを決定した。次回の総会で必要な規約改正を行う。なお、終身会員制度はさらに検討を要する。

3.10 学会の将来の活動方向と学会名の検討

清野会長より提案趣旨の説明があり、具体案に関する討議を行った。継続審議。

3.11 会員サービスの充実策

当面、新ホームページへの移行とメーリングリストサービスを進める。また、気象観測の講習会や各種セミナー、学会による資格認定制度について検討する。

3.12 学会賞、永年功労会員表彰の記念品

大原総務理事が選定し、各理事の承認を得る。

IV. 次回理事会

2007年7月6日（金）13時から、東京大学で開催する。